

秋田市地域公共交通協議会委員ヒアリング結果一覧(抜粋版)

	②今後の公共交通に期待すること		③期待の実現にどのように貢献できるか
	事前のヒアリング内容	第2回協議会で出された意見 (行ってもらいたいこと)	事前のヒアリング内容
東日本旅客鉄道 (株)秋田支社 総務部長		・バスダイヤや学校の始、終業時刻との連携の検討 ・電車内への自転車の積み込み検討 ・増便等の社会実験の検討	
秋田中央交通 (株) 専務取締役	1.安全・安心で最低でも10年程度は持続可能な交通であること。 2.交通空白地域がないという、住民に対する安心感の醸成が必要。代替交通については、シビルミニマムと受益者負担の視点での取り組みと必要によっては福祉制度を活用した福祉タクシーによる個別の対応も選択肢の一つ。	・小系統、多運行方式の検討 ・乗務員のマナー向上対策の実施 ・乗り継ぎ拠点の検討 ・JRとの連携 ・バス停の高度化の検討 ・学割などの割引率の見直し検討 ・車内でのラジオ放送の検討 ・始発、終発時刻の見直し検討 ・土崎から新屋までのような新規路線の検討 ・バストリガー方式の導入検討 ・バス運行に係る社会実験の検討 ・秋田中央道路の活用策の検討	1.受託事業者との乗り継ぎダイヤの設定による円滑な運行確保。関連会社の秋田中央トランスポートとの連携による代替交通の確保。 2.運輸の安全管理マネジメントの取組みと「グリーン経営」に基づき、安全・安心で、環境にもやさしいバスによって地域に貢献する。※平成19年1月30日付、交通エコロジー・モビリティ財団の「グリーン経営認証」を取得した。
あさひ自動車(株) 社長	H19.12.20日に協議会が開催され、翌年1月の新聞には代替運行が確保されない旨の報道(アンケートの指定期日を過ぎたから感じる事ができたのだが)がなされた。 何かすっきりしない。個人的な感情か、TAXI事業者故か		
秋田県バス協会 専務理事	市民にとっては、バスが快適で使いやすい交通手段であることを期待している。 快適で使いやすいバスであるためには、交通事業者と行政は協力して、利用しやすいバス路線の整備等を図らなければならない。また、市民は公共交通機関の重要性を今以上に認識し、積極的な利用を心がけていく必要がある。		交通事業者は、公共交通機関を支える中心的組織として、快適で使いやすいバスの実現のために、積極的、主体的に各種施策を確実に実行していく必要がある。
秋田県ハイヤー 協会 専務理事			
秋田中央交通 労働組合 執行委員長		・小系統、多運行方式の検討 ・乗務員のマナー向上対策の実施 ・乗り継ぎ拠点の検討 ・JRとの連携 ・バスの待合い環境の改善検討 ・学割などの割引率の見直し検討 ・車内でのラジオ放送の検討 ・始発、終発時刻の見直し検討 ・土崎と新屋を結ぶ新規路線の検討 ・バストリガー方式の導入検討 ・バス運行に係る社会実験の検討	

秋田市地域公共交通協議会委員ヒアリング結果一覧(抜粋版)

	②今後の公共交通に期待すること		③期待の実現にどのように貢献できるか
	事前のヒアリング内容	第2回協議会で出された意見 (行ってもらいたいこと)	事前のヒアリング内容
秋田商工会議所 専務理事	- 交通弱者の買い物、通院等での移動に対して公共交通サービス機能を維持する事への期待。 - 環境問題への対応という観点からも、公共交通機関の利便性が高まり、市民の移動手段としての役割を高める事への期待。	循環バスの導入検討	- 公共交通機関の利用促進とマイカー通勤自粛運動の展開 - マイカー相乗りの啓蒙運動の展開
暮らしを考える 女性の会 会長	JRや飛行機を利用して秋田市を訪れた観光客やビジネスマンの二次アクセスとしての機能性も検証されなければならない。 既存のJR各駅と連携して秋田版パークアンドライド方式を確立して欲しい。 現行の秋田駅西口東口への乗り入れはなかなかなのか。複合的な視点で中心市街地の双方向の循環バス(料金は一律)を走行はどうだろうか。その路線の数カ所のバス停を各地域への系統バスのターミナル化も一考ではないか。 <u>公共交通機関の利用促進活動のひとつとして、市職員のノーマイカーディを実施してはどうか。</u>	- 公共交通機関の利用促進活動 - バス停付近の除排雪状況の確認	当市中心市街地の活性化と再生と云う街づくりと市民の足「アクセス」は一元的な視点が必要不可欠である。 <u>包括的に論じられなければ結果としてちぐはぐなものになってしまうと憂慮している。</u> <u>目的地へ移動する手段として利用する交通ツールはいくつかあろう。</u> <u>都会では日常的な「乗り換える」意識の啓蒙、啓発も大事。バスターミナル駅の待ち合い室の環境整備等々、パークアンドライド実現のため知恵を出しあいたい。</u> <u>受益者負担は当然であるが、不公平感を払拭すべき。</u>
秋田県高等学校 PTA連合会 会長	- 保護者の負担軽減面を考えるとバス運賃を低く抑えてほしい。 - JR利用生徒との連動が密接と考えますが、各高校の始業時間との関連が十分満たされているか。運行時間帯と運行量が妥当であるかそれらを含めて工夫してほしい。	- 公共交通機関の利用促進活動 - バス停付近の除排雪状況の確認 - 高校生の通学手段の実態把握	
秋田市PTA 連合会 会長		- 公共交通機関の利用促進活動 - バス停付近の除排雪状況の確認	
NPO法人秋田バ リアフリーネット ワーク 代表	様々な工夫がなされていることを評価する。この場合、地域の特性をよく反映すること。そして、新しい方式の採用に際しては一定の供用期間の後、第三者による事後評価を行う行政システムを備えることが必要である。	- 公共交通機関の利用促進活動 - バス停付近の除排雪状況の確認	評価システムの実効性において市民の立場から貢献できる。
秋田老人クラブ 連合会 会長	1)新聞紙上によれば、富山市で市内中心部の賑わい創設に、路面電車を導入したところ、当初の計画より乗車人員が多く、今後、私鉄あるいはJRに乗り入れるとかとありましたが、秋田市でも検討しては如何か？	- 公共交通機関の利用促進活動 - バス停付近の除排雪状況の確認	
北部地区公共交 通研究会 会長	土日祝祭日など非運行時の有効利用を地域で活用できるか。	- 公共交通機関の利用促進活動 - バス停付近の除排雪状況の確認 (北部)予約式乗合タクシーの有効活用	有効活用できるとすれば、休日のレクリエーション地域内のミニ観光・山菜採レクなど地域内の移動に貢献できる
旭北地区町内会 連合会 会長	バスの小型化を進め、中型とバランスのとれた運行を望む	- 公共交通機関の利用促進活動 - バス停付近の除排雪状況の確認	中央街区の開発を早急に計画されることが先決。その発展に繋がる公共交通が望ましい。

秋田市地域公共交通協議会委員ヒアリング結果一覧(抜粋版)

	②今後の公共交通に期待すること		③期待の実現にどのように貢献できるか
	事前のヒアリング内容	第2回協議会で出された意見 (行ってもらいたいこと)	事前のヒアリング内容
国土交通省 東北運輸局 秋田運輸支局 支局長	・まちづくり計画と一体となった交通施策の推進。 ・大量輸送範囲と少量機動的輸送範囲に区分し、それらを有効的に組み合わせた交通体系の構築		交通連携計画策定及び交通システム整備への支援
国土交通省 秋田河川国道 事務所 所長			公共交通への転換が渋滞解消につながるについて、データを用いたPRが可能
秋田県 建設交通部 次長	通勤時間帯のバスの定時制が確保されればバスの利便性が向上し、それによってバス利用者の増加につながり、交通混雑の緩和も期待できる		時差出勤の取り組みを行政機関をはじめ企業、団体へと拡大することで、通勤時間帯における交通量が減少し、バスの定時性確保に大いに貢献すると考えることから、県・市・関係機関が協調のうえ広く民間へも働きかける必要がある。 《県の取り組み》 ①平成18年7月から県職員のマイカー通勤者を対象に時差出勤を実施 ②(主)秋田昭和線の手形山地区における通勤時間帯の渋滞緩和対策 現在の道路幅員内で2車線を3車線化
秋田市建設部 部長	・バスの運行体制および料金設定を見直すことによって、利用者増が図られ、交通渋滞の緩和と、主に交通手段をバスに頼っている学生や高齢者の行動範囲が広がり、街に活気が生まれることが期待できる。 ・広範囲な循環バスを運行することによって、乗り継ぎなしで目的地に行くことが期待できる。		・降雪時におけるバス停留所周辺の除排雪(市道の場合) ・バス停留所周辺歩道の整備および屋根設置にかかる占用許可の弾力的運用(市道の場合)
東日本高速道路株式会社 東北支社 秋田管理事務所 所長	・高速バスについて、能代方面、湯沢方面に運行しているところですが、料金が安価なこと、運行時間も大きな差がないことを、さらに積極的にPRし、集客につなげてはどうか？ - 例)秋田～能代 高速バス 所要時間 1時間 料金 900円 JR 所要時間1時間15分(東能代乗換え) 料金1,110円 ・秋田中央道路が開通し、秋田中央ICの出入り交通量は、約3,000台/日⇒約3,500台/日に増加している。このことは、秋田市内に行くために、時間短縮や渋滞回避を考えてお客様が判断した結果と思われるので、これらも含め、秋田中央		・高速バスも含め高速道路をご利用いただくお客様は、有料であってもそれだけの対価があるとの判断で、ご利用いただいていると思います。<u>この対価の中には定時性も大きく期待されていると思われ、このような状況で通行止めが発生すると定時性を損ね、代替道路となる国道7号、国道13号やアクセス道路等は、時間帯によっては渋滞が発生させることから、特に、冬期間は出来るだけ通行止めを発生させないよう、また、通行止めとなっても出来るだけ早い解除を目指して、道路管理に努めていきたい。</u>

秋田市地域公共交通協議会委員ヒアリング結果一覧(抜粋版)

	②今後の公共交通に期待すること		③期待の実現にどのように貢献できるか
	事前のヒアリング内容	第2回協議会で出された意見 (行ってもらいたいこと)	事前のヒアリング内容
	・現在ETC料金割引社会実験を実施中であり、秋田市に近い「昭和男鹿半島IC～秋田北IC」は、5割引(通勤割引)、3割引(深夜割引)になっている。また「能代南IC～岩城IC」間は3割引(平日夕方割引)を実施している。このような施策を活用して、高速道路への交通転換を図り、国道等の渋滞解消になることを、PRしてはどうか？		

秋田市地域公共交通協議会委員ヒアリング結果一覧(抜粋版)

	②今後の公共交通に期待すること		③期待の実現にどのように貢献できるか
	事前のヒアリング内容	第2回協議会で出された意見 (行ってもらいたいこと)	事前のヒアリング内容
秋田臨港警察署 署長		・バス専用、優先レーンの取り締まり強化の検討	
秋田中央警察署 署長	・バス専用、優先レーンの取り締まり強化の検討	・バス専用、優先レーンの取り締まり強化の検討	・街頭指導を強化し、バス専用及び優先レーンを確保し、公共交通機関の交通流の確保に努める。
秋田東警察署 署長		・バス専用、優先レーンの取り締まり強化の検討	
秋田市副市長		・コンパクトシティの実現 ・中心市街地の活性化 ・バスの待合い環境の改善検討 ・路面電車の導入検討 ・高校生の交通手段の実態把握 ・部局横断的バス活用策の検討	